

江中

「キャリア教育」

校長 大地本央仁

「社会的・職業的自立」

2学期は、生徒が学んでいることを生かして活動する学校行事や活動がたくさんあります。中でも、以下に紹介する活動は、子どもたちの将来の社会的・職業的自立と深く関連している活動です。

キャリア教育は、子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけです。そして、キャリアの形成に重要なのは、自らの力で生き方を選択していくことができるよう必要な能力や態度を身につけることです。学校では子ども一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために、様々な教育活動を通して必要な能力や態度を育成しています。

それでは、以下にそれぞれの活動を簡単に紹介します。

第1学年総合的な学習
企業訪問～地域課題に向き合う大人との出会い～

10月15日(水)に、「地域課題に向き合う方の働く場を見学することで、探究課題解決のヒントを得る。」「住み慣れた地域をめぐること、ふるさとの良さを再認識する。」を目的として

定住/環境	てごねっと石見	しまね森林発電
産業/高齢化	播磨屋林業	コミュニティ交流センター
観光/少子化	有福温泉	子育てサポートセンター



上記のようなテーマで6つの団体等を訪問し、仕事概要・その仕事が地域(江津)や社会のどんな課題解決につながるか・今後の展望・その仕事に就かれたきっかけ・江津で事業を営まれている経緯・仕事上での人との関わり・江津の魅力・今の仕事のやりがい・好きな部分・苦労・今後やってみたいこと・お仕事上必要なスキル、資格など、地域の課題に向き合っている団体様等のお話を聴き江津市がもつ課題を解決する手がかりを探りました。

また、県立大学から実際に地域課題探究に取り組む大学生を招き、アドバイスを聞き、自分たちの探究活動をまとめる際のヒントを得たり、大学生との交流を通して、自分の将来の生き方について考えたりする活動も行う予定です。

第2学年「修学旅行」

10月15日(水)～17日(金)の間、

- ◆ふるさとを離れ、近畿地方の歴史・文化・産業等にふれることで、郷土を見つめ直す機会とする。
- ◆集団生活・集団行動を通して、協調性や規範意識を高める。
- ◆旅行に関わる諸活動を通して、仲間との親睦を深め、よい思い出づくりと学校生活の充実を図る。

を目的として、京阪神への修学旅行に行ってきました。

1年生の時に気づき解決策を考えた江津市の探究課題を江津市以外の都市を知ることで、理解を更に深めたり、課題を発見したりすることを期待し、大阪市内では、企業見学 カップヌードルミュージアム大阪池田見学(産業・文化との出会い)や水上バス「アクアライナー」乗船(テーマ:環境・地域活性・大阪の街づくりの歴史)への訪問や活動、京都府では、京都の歴史や文化に触れる自主研修を行いました。

第3学年「職場体験」

10月15日(水)～17日(金)の間、江津市や

江津市教育委員会、てごねっと石見さんのご協力のもと、職場体験学習を行いました。

- ◆マナーやルールを身につけ、社会人としての資質を考える。
- ◆働く人々の姿や考え方に触れ、進路選択への心構えや知識を身につける。
- ◆体験する職業を選択し、実習についての自己目標を設定する。
- ◆職業を直接体験することにより、勤労の尊さや意義を考える。
- ◆地元の産業や人々と触れ合う中で、郷土や郷土の産業への理解を深め、地域へ愛着や誇りをもつ。

を目的として、子どもたちが、自分の将来や江津の未来をテーマとした探究的な学習の集大成となる活動です。実際に体験することで、自分に必要な資質・能力は何なのかと新たな課題が生まれ、理解を深めたりすることができたと思います。

